

プロジェクト

いぶすき農業女子P J (指宿市)



←募集チラシも女性を意識した色鮮やかなものに

いぶすき農業女子P J

本事業で取り組んだモニターツアーでは、従来の農業体験では決して参加が多いとはいえない「若い女性」をターゲットと設定し、指宿の豊富な農産資源等を活かしつつ、「美容」と「健康」に着目した「グリーン・ビューティー・ヘルスツーリズム」の実践を目標とした。

また、指宿に多く存するホテル等との連携を視野に、短時間で楽しめ、気軽に参加できる内容のブラッシュアップも目標にしている。

短時間で楽しめるメニューの開発

モニターツアーでは3軒の農家をめぐり、自家栽培の新鮮な野菜を使用したお弁当を昼食とした内容。各農家において酵素についてのセミナー、青パパイヤの収穫体験、ミラクルフルーツの体験を行った。各プログラムが単体でも実施できる独立性があること、短時間での気軽な体験でありながらこだわった内容である点が特徴である。

ターゲットを絞った告知

今回の告知に関しては、実施地域である指宿市内でのチラシ配布で募集が埋まった。参加者はすべて女性で、狙った通りのターゲットに届いたといえる。(ツアー定員12名に対して13名参加)。指宿市外からの参加は鹿児島市から4名であった。

ターゲットを女性に絞っている理由として、本事業を実施し、普段は自然栽培畑の野菜を使った手作りお弁当の販売を手掛けている「やさいろ」代表の湯ノ口氏は、「普段の仕事の顧客も女性。また地域活動しながら、自分自身もそうだが、女性は子供や家族のことを考えて購入するので、“売れる”商品は女性の口コミ力や発信力にあるのでは」と語る。

日常的に受け付けられるメニューに

課題としては、今回実施のモニターツアーのように、実施日時を限定すると、地域の他の行事と重なって来たい方が参加できなかったり、天候に左右されることもある。

指宿市は温泉が中心となった従来からの観光地ということもあり、今後もホテル・旅館との共存が必要。農家での宿泊に付随する体験ではなく、常時受け付ける体験が必要なのではと感じている。



自然栽培畑の散策



青パパイヤについての説明を受ける参加者

ここがキラリ☆ 指宿市の取組

指宿観光協会が2014年から始めた「キラ☆旅」では、ロゴマークも女性がデザインされ、最初は若い女性をターゲットにしていたが、より年齢を重ねた女性のほうが美容やおいしいものへの関心が高いとも。現在は実施日時が限定されたスタイルだが、将来的には、今回取り組んだようなメニューも常時受け入れができるような連携を目指す。